

青少年国際交流事業

智頭中学生11人が韓国楊口郡を訪問しました



韓国楊口郡と智頭町は、平成11年に友好交流協定を結び、昨年度は6年ぶりに韓国訪問団を受け入れました。本年度は、智頭中学生11人が8月4日(月)～7日(木)の4日間で楊口郡を訪問し、楊口郡の中学生と文化体験等の交流を通じて友情を深めました。楊口郡の石泉中学校での歓迎会では、全員が韓国語で自己紹介し、3年生の代表生徒が、智頭町や智頭中学校の紹介スライドを共通言語である英語で紹介しました。楊口郡の文化に触れ、異なる生活や文化体験を通し、心の豊かさや相互理解を深めることができた貴重な交流となりました。

生徒の感想



2年生 古谷 たねさん

この交流を通して、韓国の文化、人の優しさに直接触れることができ、日本にいただけでは得られない経験ができました。日本と韓国、それぞれの国に良さがあり、違いを知れて世界に対する見方が変わりました。昨年の交流よりもたくさんの人と会話ができて、教育委員会が開いてくださった韓国語講座で学んだことを実際に使うことができ、成長を実感できる交流となりました。この体験は私にとって一生の宝物になりました。今回学んだことを生かして来年の交流にも参加できたらなと思いました。

3年生 古谷 蛍さん

文化の違いを知ることはとても面白く、自分の町や日本の良さを改めて考えるきっかけにもなりました。この経験から学んだのは、相手を理解しようとする気持ちや違いを受け入れる姿勢の大切さです。今後の生活では、学校や地域での人との関わりの中でも、相手を思いやり、積極的にコミュニケーションをとることを意識していきたいと思います。

3年生 森 たま子さん

今回の日韓交流を通して、同じアジアでも文化や価値観に細かな違いがあることを実感しました。言語や文化の壁があっても、共通の目標や楽しみを見つければ協力することはできます。そしてその協力に必要なのは完璧な言語能力ではなく、相手を理解しようとする姿勢だと思います。これからの生活では、初めて出会う人や環境に積極的に飛び込み、自分の世界を広げていきたいと思っています。